

廿日市店スタッフ交替

現在の廿日市店を開業以来16年廿日市店の事務職として勤めておりました山中さんが11月15日退職され、新しく地御前在住の小林さんに廿日市店の事務として勤めてもらうこととなりました。山中さんは、廿日市店の一般事務と顧客管理を主に担当し、施工させていただいたデータの入力・管理を行っていただいていた。お客様からの不具合の電話の際にも、いつ・何を設置させていただいたかが分かるようになり、お客様から信頼される企業へと進化の一躍を担ってくれました。改めて、16年間の功績に感謝する次第です。有難うございました。お孫さんもできたとの事、少しゆっくりされ、趣味のコントラバスを益々楽しんでいただければと思います。山中さんより、皆さんへのご挨拶の言葉をいただきましたので掲載いたします。（啓）



山中さん 宮本店長(酔っ払い顔)
昨年11月歓送迎会にて



この度、還暦を迎えるに当たり、16年お世話になったゲイナンハウスを退職いたしました。

これまでの色々な経験、特にお客様との交流や、社員同士のチームワークなどは私の人生の中でも最も勉強にもなり、また良い思い出にもなっています。

感謝祭では私のつたないコントラバスの演奏を御披露目したり、展示会では多くのお客様ともお会いできましたが、これらはコロナの影響で開催できなくなった事が寂しく思います。

これからは、今年の夏に産まれた初孫と遊んだり、趣味のオーケストラやピアノ、フラワーアレンジ、また何か新しい事にもチャレンジしていきたい、まだまだ成長していきたいと思っています。

廿日市に住んでいますので、もしどこかで私を見かけましたら、どうぞ声をおかけ下さい！

長い間、お世話になりました。ありがとうございました！

廿日市店新スタッフ紹介

名前：小林 恵美
出身：広島市安佐北区
家族：ご主人+お子さん(6歳・3歳)

自己紹介

これまで化粧品販売の仕事に携わって来ましたが、幼い子供がいるため通勤のしやすさなどから転職を考えていました。2年前に自宅をリフォームしていただいたゲイナンハウスからいただく「住まいの通信」を拝見し、暖かい会社だと思入社させていただきました。

リフォーム業界は未経験ですが、自宅のリフォームからインテリアにも関心が深まりましたし、これまでの職場で培った接客対応などを生かして会社に貢献して参りたいと思います。

廿日市店でお待ちしておりますので、お気軽にお越しください。



廿日市店2階事務所にて
チョット緊張気味？

「住いの困った」は ゲイナンハウス 大竹店・廿日市店共に
フリーダイヤル0120-505-375 URL:<http://www.geinan-house.co.jp/>
最後までお読みいただき有難うございました、次回は4月頃の予定です。（啓）
*尚、この「住まいの通信」がご不要の方はご一報願います。送付を停止いたします。



190mのミラーガラスに瀬戸内海の島々が映る仕組みのようです

レストラン？

8つのカラフルな箱は水に浮かぶ展示室とのこと

皆様、新年あけましておめでとうございます。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



河野



新型コロナも2019年12月に中国武漢での集団感染以来、早いもので4年目を迎えることとなりました。周りでも、感染した事例が身近にどんどん現れ、コロナ禍が特別な事から次第に当たり前の事ようになってきたように感じます。今は8波に突入したのでしょうか？いずれにしても、令和5年もコロナを恐れつつ付き合っていかなければならないようです。

さて、上の写真は以前にもご紹介しました大竹市晴海に建設中の下瀬美術館の写真です。いよいよ今年の3月にオープンとの事。世界的建築家「坂 茂(ばん しげる)氏」による設計で、ホームページによると「見たこともない空間や、想像を超える景色、知らなかった建築の魅力など。いくつもの驚きが訪れる人を待っています。坂 茂が手がけた、別荘のような10棟のヴィラ。海や空とひとつづきになった場所で、風とおしのよい時間をお過ごしください。お食事は、地元の幸を生かしたフランス料理をご用意。敷地内の美術館や庭園の散策も楽しめるアート・オーベルジュです。」と読んで浅学な私には今一つピンときませんが、何やらすごい美術館ができるという事は伝わってきます。

朝のウォーキングで少しづつ進む工事を観察していると、建物の工事もさることながら、建築前は平坦だった地面がブルドーザーなどの重機によって様々な起伏が作られ、そこに木々が植栽され、見る見る雰囲気のある場ができていくことに目をみはっていました。建築家ではありませんが、建築に携わる者の端くれとして、リフォームにおいても、建物だけでなく、風や光、庭の木々も含めて計画しなさいと教えられます。

近況では裏面に書きましたように廿日市店に新しいスタッフが加わり、本社には4月から新卒のフレッシュマンが入社する予定です。令和5年は21歳から77歳までの幅広い世代での構成で、皆様の「住まいの困った」を「良かった」に！をスローガンに社員一同元気に頑張りますので、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

ご本人から聞いたかった
住職感話 二階堂 敦

昨年の3月29日に、大竹市の大龍寺ご住職が行年54歳にてご往生されました。ご住職(二階堂敦氏：通称ガンジー)とは、大竹の吹奏楽のバンドのご縁で何度か一緒に演奏もさせていただき、住職を継職された時の稚児行列にも楽器演奏で参加をさせていただきました。ご住職は大学在学中からベーシストとしてジャズ活動を始められ、24年間沖縄で過ごされました。音楽を通じて知り合われた二階堂和美さん(大龍寺の娘さん)とのご結婚を機に大竹に移られ、浄土真宗本願寺派僧侶として得度され、2017年にご住職を継職されました。

吹奏楽のバンドで初めてお会いした時は、失礼ながらお寺さんとは思えない風貌をされ、コントラバス(弦楽器で一番大きい楽器)を演奏される姿はまさにジャズベーシストそのもの！しかも奏でる音はこれまで聞いたことが無い程大きく、さすがプロのベーシストだと驚いたことを思い出します。普段はいつもニコニコされて、笑いが絶えず、眉間にしわを寄せた姿を見たことが無い、そんな明るいご住職でした。

さて、ご住職のご葬儀からしばらく経って、御礼のお手紙と共に「住職感話」と言う小冊子が同封されていました。早速読ませていただくと、お寺さんがよく言われる「あじわわせていただく」と言う言葉や、「お経」のこと、「合掌礼拝」のことなど、飾りのないご自分の言葉でものすごく分かり易く書かれていて、私も時折聞くご法話の中で、ん？と思っていたことがスーッと入ってきました。全文はご紹介できませんが、ご夫人からもご了解をいただきましたので、少しだけおすそ分けさせていただきます。



住職感話1

仏教や浄土真宗とのご縁を全く感じずに育ちましたので、入寺するまでは聞いたことのなかった言葉や言い回しに多く出会います。その中で自分にとって特に印象深いものに「あじわう」があります。

初めて耳にしたのはお寺での法座、ご講師のご法話の中、いろいろと仏法を説かれた後、「私はこのようにあじわわせていただいております」と話を締められました。

当時お寺に来たばかりに私の一番の心配事は、そもそも自分に信心が持てるのか？という疑問でした。ましてや僧侶ともなれば人に仏法を説く立場、全く自信がありません。そんな時間聞いたのが「あじわわせていただく」です。

仏法が「わかる」のは無理でも「あじわう」はできそうで、説くのは無理でも自分の「あじわい」を伝えることはできるかもと、少し気が楽になったことを覚えています(実際にはなかなかうまくお伝えできていませんが)。

ところで仏教では「~させていただく」と言う表現をよく使います、やたらと使います。ほとんどすべての「する」を「させていただく」と言います。

無作法な私にとっては面倒な言い回しではありますが、人が自分の意志だけで生きているわけではなく、なにかのご縁の中で生かされていることを意識することのできる、大事な言い回しだと「あじわわせていただいて」おります。

冊子に収められていた9話ある感話の内の一話をご紹介させていただきました。私の姉がお寺に嫁いだご縁で、お寺関係の行事に参加させていただくことも多く、その都度少しばかり違う世界を感じておりました。お寺との縁のない世界から入寺されたご住職の感話を読むほどに、ご本人からお話を聞いたかったとの思いが募ります。感話5に「諸法無我」と言う仏教の言葉を紹介されています。簡単に言えば自分だけで成り立っている世界は無く、全ては「ご縁」なのだとのこと。改めて、私も会社も全ては「ご縁」で今があることを教えられます。



ナモアミダブツ (啓)



最近の施工事例より
ムーミンハウスのようなお家にしたい！

今回の施工事例は、外壁と屋根の塗装替えに併せて浴室のリフォームもさせていただいたお宅です。外壁の塗装に関しては、娘さんがタイトルにありますように「ムーミンハウスのようなお家にしたい！」とのご希望により、塗料の色合いをしっかりと確認していただき施工した次第です。普段なかなか使われない色なので施工させていただく我々の方もどんな出来栄になるか少々不安でしたが、出来上がりにはご満足いただけたとの事です。

左の写真のように、元々外観は洋風の建物でした。建築からすでに20年以上経っていましたので、屋根(カラーベスト)が塗装できるか劣化状況をドローンにて確認した上で行っています。カラーベストは劣化が激しいと塗装に適さないこともありますし、棟や谷の板金などの劣化状況も事前の調査で大事なポイントとなります。



外観：着工前



屋根：ドローン調査



完工



完工：正面



浴室：着工前



浴室：完工

いかがでしょうか？もう少し高い位置から撮れていたら屋根の色も映えて、まさに「ムーミンハウス」の雰囲気が出たのではないのでしょうか？出来栄を松山に居る娘さんに送ったところ、とても喜んでいただけたとの事で安心です。併せて、冬場とても寒いタイル張りのお風呂を暖かいシステムバスにリフォームさせていただき、お住まいのお客様には、娘さん以上に喜んでいただきました。(啓)